



## [ゴングウェル通信] パテントウォッチャー

特許翻訳のエキスパート、ゴングウェルサービスでは、優れた品質と価値を提供するため、世界を舞台にあらゆるリソースを結集し、お客様に最適なビジネスソリューションを提供し、信頼されるパートナー企業を目指します。

### この号の内容

特集1:	1
オフィス紹介	
シリーズ1:	1
スタッフ紹介	
シリーズ2:	2
世界の特許事情	
特集2:	2
特許ニュース	
特別キャンペーン	2
実施中	
シリーズ3:	3
翻訳者の横顔	
特集3:	3
翻訳豆知識	

### ゴングウェルオフィスの紹介

#### バンクーバーオフィス(パート2)



暖かな春がやってきました。春にちなんで、今日はバンクーバーの桜についてお話します。

1930年代のはじめ、神戸市と横浜市から、第一次世界大戦で戦死した日系カナダ人を追悼して500本の桜がバンクーバー市に贈られました。以来この街には桜の植樹が広まり、今では毎年バンクーバー桜まつりが開催されるほどの風物詩となりました。

バンクーバーの桜は3月後半から4月後半までが見頃です。この季節スタンレーパークやクイーンエリザベスパークへは桜見物に多くの家族連れが訪れます。ただし公共の場での飲酒が禁止されているカナダでは宴会の習慣はありません。



当社CEO(1月撮影)

つい先日まで大雪に埋もれていたバンクーバーオフィスのスタッフも、この春の訪れに気分一新リフレッシュして、皆

様からのご用命にお答えします。2010年の冬季オリンピック開催まで1年に迫ったバンクーバーの街は昨今の経済不況にもめげず元気一杯です。

次回夏号では、ゴングウェルの日本セールス拠点として生まれ変わった東京オフィスのお話を中心にお届けいたします。

### 私たちがお手伝いします

はじめまして、マット・バードーリと申します。

日本での生活を経て、昨年の秋、9年ぶりにカナダへ戻ってきました。ゴングウェルでは、バンクーバーオフィスの営業マネージャを任されています。日本での9年間は、毎日楽しく、その間家族もできとても幸せで、人生の視野が広がる貴重な体験でした。カナダに戻ってからは、逆カルチャーショックを感じながらも、自分が生まれ育った国での生活習慣に再び順応するよう前向き思考でがんばっています。

このコーナーではゴングウェル各オフィスのスタッフを紹介しています。



ゴングウェルの営業マネージャとして、北米市場の開拓が私の主な業務です。顧客のニーズに合わせて、翻訳と特許調査サービスの営業活動を強化し、弊社のウェブサイトやマーケティングツールのレベルアップを計るべく、日夜努力しています。これまでゴングウェルでは、アジアの言語をメインに営業活動を続けてきましたが、これからは他の言語への市場参入にも目を向けて、リサーチや計画を進めていきます。さらに来年2010年の冬季オリンピックがバンクーバーで開催されることもあり、今こそゴングウェルのブランドを世界に広める良いチャンスと捉え、オリンピックのビジネスチャンス関連のワークショップやゼミにも積極的に参加し、ビジネスプランを進行させています。皆様と協力して良いビジネス関係を構築し、お互いの繁栄に一躍買いたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。



# [ゴングウェル通信] パテントウォッチャー

## 世界の特許事情 米国特許取得上位ランキング(民間調査機関調べ)

民間調査会社のIFI社(米国)は本日、08年の特許取得件数上位35社を発表した。同発表によれば、IBM社は米国において年間特許取得件数4千件を初めて超えた企業となり、16年連続で第1位。トップ3に変動はないものの、第2位のサムスン電子社は、取得件数を伸ばして3,515件(前年比29%増)となり、第3位以降との差を広げている。07年に初のトップ10(第6位)にランクインしたマイクロソフト社は、08年には、さらに取得件数を伸ばして第4位、特許取得件数は03年に比べ約4倍となるなど、同社の特許重視の戦略を一層印象付ける結果となっている。

日本企業では、富士通社が第8位にランクイン。これで日本企業はトップ10中に5社(昨年は4社)がランクインして半数を占めた。IFI社は、米国企業による特許取得割合の減少に触れ、日本企業がトップ10に5社、上位35社では14社を占めるのに対し、米国企業はトップ10に4社、上位35社では12社である点を紹介している。

また、IFI社は、昨今の景気後退に伴う特許取得件数への影響は審査期間のため数年のタイムラグがあり、今後どのように統計に現れるか興味深いとしている。

順	2008 (件)	企業名	2007 (件)	順	2006 (件)	順
1	4,186	IBM	3,148	1	3,651	1
2	3,515	Samsung	2,725	2	2,453	2
3	2,114	Canon	1,987	3	2,378	3
4	2,030	Microsoft	1,637	6	1,463	12
5	1,776	Intel	1,865	5	1,962	6
6	1,745	Matsushita	1,941	4	2,273	4
7	1,609	Toshiba	1,549	7	1,717	9
8	1,494	Fujitsu	1,315	12	1,513	11
9	1,485	Sony	1,481	8	1,810	7
10	1,424	Hewlett-Packard	1,470	10	2,113	5

## 特許ニュースフラッシュ

### AP通信、オバマ大統領の選挙ポスターによる著作権侵害を主張

特許翻訳に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。

フリーダイヤル:

0120-078-616 (日本国内)

東京オフィス

電話: 03-5366-1920

神戸オフィス

電話: 078-845-8620

バンクーバーオフィス

電話: +1-604-942-8158

Eメール:

newsletter@gongwell.com

AP通信(The Associated Press)は4日、昨年米大統領選で使用されたオバマ大統領の選挙ポスターは、3年前にAPが写した写真を元に作成されたとして、アーティストShepard Fairey氏に著作権侵害について打診したと発表した。

問題のポスターの絵は、赤、白、青の3色に塗られた上を向いたオバマ大統領の顔であり、ロサンジェルスの上アーティストShepard Fairey氏の作品である。この絵のポスターやステッカーは何10万部も売られ、Fairey氏のサイン入りのものはeBayで何万ドルもの値段がつけられているという。

この作品はAP通信が2006年4月に写した写真を元に作成された。このことはFairey氏も認めている。APはAPが著作権を保有すると主張し、クレジット表示と対価を要求したが、Fairey氏はこれに同意していない。



「APは、このポスターに使用された写真はAPのものであり、その利用は許可が必要であると結論した。APは自社の資産を守り、ケースバイケースで案件に対応している。Fairey氏の弁護士に連絡し、現在交渉中である。友好的解決を望む」とAPのメディア・リレーションのポール・コルフード氏は語った。

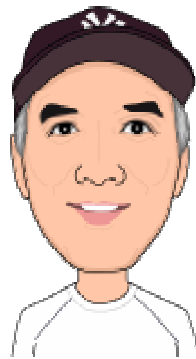
## 特別キャンペーン実施中！(2009年5月31日まで有効)

このニュースレターをご覧になって日⇄英翻訳を発注いただいたお客様に、翻訳料金の10%を割引させていただきます。尚、割引の適用はお客様1社に対して原稿最低4000文字(日→英)または2000ワード(英→日)の案件1件に限定させていただきます。他の割引とは組合せられませんので、ご了承ください。詳細についてはお見積り依頼の際にお問い合わせください。



## 翻訳者の横顔

今回は東京オフィス所属の礼門さんをご紹介します。



こんにちは、礼門太郎(ペンネーム)です。

このペンネームは、レイモンド・チャンドラーを気取っています。つまり、ミステリ小説を読むのが大好きです。探偵もの(Robert Parker)、医学もの(Robin Cook)から、Patricia Cornwell、Dick Francis、Dan Brownなどがお気に入りです。仕事で読む英文は、エンジニアリング関係(電子、エネルギー、原子力を含む)が多いので、ミステリは気晴らしに最高です。

気晴らしのもう一つは、サッカーです。地元のシニアサッカークラブ(40歳以上からシニア)に所属して、年間公式戦10試合ぐらいに出場しています。

翻訳では、分かり易い文章にすることを心がけています。特許関係は、先ず内容を理解しないとイケないので、何でも知りたいという好奇心が役に立っています。自然科学も好きですが、語学も好きです(東京の語学専門大学卒業、NY大学で語学研修)。英語の他には、中国語も話せます。

昨年は、三浦雄一郎氏の言葉に感動しました。「老いは怖くない。目標を失うのが、怖い」だそうです。私もまだまだいろいろやってみようと思っています。



## 翻訳豆知識

### 翻訳メモリの概念と機械翻訳との違い

翻訳メモリとは、コンピュータの得意とする単純作業の繰り返しと、その処理能力の高さを人間の得意とする柔軟性や想像力と組み合わせ、処理量と品質の向上を狙おうとするものです。

「機械翻訳」は、「自動翻訳」と呼ばれることも多いツールです。翻訳サイトなどの無料サービスをご利用いただいたことのある方、どのように感じられましたでしょうか。大変便利なものですが、自然な表現、適切な表現から程遠い結果が表示されることも多く、大意をつかむための利用にとどまっていることが多いのではないのでしょうか。

ゴングウェルが使用しているコンピュータ支援翻訳ツールのTRADOSは、「翻訳メモリ」に分類されます。翻訳メモリとは、人間が翻訳した訳文を原文とペアでデータベースに保存することで、過去の翻訳の再利用を可能にするツールです。質の高いデータベースを構築し、適切なメンテナンスを行うことで品質と効率の向上を達成することができます。

また、過去の翻訳を再利用することにより作業効率が向上し、用語・表現の統一が容易にできるようになります。

機械翻訳との主な違いを以下に示します。

	翻訳メモリ	機械翻訳
訳文生成の方法	人間が翻訳した成果をデータベース化し再利用する	原文の「構文解析」を行って、訳文を自動生成する
レイアウト	複雑なフォーマット情報を保持できる	複雑なフォーマットの処理が困難
用途	製品やマニュアルのローカライズなど、企業コンテンツの多言語化プロセス管理と支援	社内向け資料の翻訳 外国語文書の内容の理解
対象	高品質な翻訳が要求されるすべてのケース	意味の判別に利用(現状の技術では顧客向けの高品質な翻訳は不可能)



Web サイトもご覧ください  
<http://www.gongwell.com>

[パテントウォッチャー]をご希望でない方は、お手数ですが下記のメールアドレスか電話番号までご一報ください。

メール: [newsletter@gongwell.com](mailto:newsletter@gongwell.com)

電話: 0120-078-616